

129 開業に伴うホコ天について（岡田理事長）

ここ数か月ずっと話してきた表記の件について、いくつかの支部からは要望書頂いたり、議決を取った報告を頂いたりした。この案件は 51:49 で決まる類の話ではないと思っていたので本日は議決を取るという形では結論を出さない。

本来、この問題は、129 がオープンするからホコ天をどうしようか、という順番で話し合う問題ではなく、自由が丘の都市計画、自由が丘の街づくり計画、自由が丘のインフラ整備、46号線の在り方、の議論があって、さて 129 ができたのでホコ天をどうするかという議論がなされるのが順当な流れなのだと思う。順番があべこべだった。

だから、「ホコ天を維持」という単純な結論ではなく、ここで議論がたち切れにならないようにしっかりと話し合いをする枠組みを作って議論をしていく「継続審議」という答えを出したいと思う。

以下、議場から上がった意見と質疑（意見は O: 質問は Q: 回答は A:）

O: これからどう自由が丘を創っていくかの重要なアイテムに 46号線はある。今回の議論が尻切れトンボにならないように、月一回のペースで定期的に話し合う場を作ってほしい。⇒積極的に検討する

Q: 趣旨は分かったが、結局 2026 年 9 月の 129 オープン時のホコ天はどうなるのか。

A: 大店法の申請や、警察への申請があるので、方向性が決まってからは最低 8 か月間行政手続きに時間を要する。本日の「継続審議」の結論を出すことで、129 は一旦ホコ天外に駐車場を確保して開業申請をする。なので、オープン時はホコ天のままである。

O: ホコ天が維持されても 129 住居部分の住人は申請さえすれば、現行法制では入れるようになるかと心得る。それについて、自粛してもらおうとか、対策を取ってもらおうとか、入居約款に入れてほしいなどの申し入れはしてほしい。⇒申し入れる。

O: 商業の街だから、駐車場有無の街全体の売上について考えてほしい。ホコ天を守ることは尊いが、土曜日曜の売上差などを考慮し、未来志向の議論も必要ではないか。

O: 今回の議論は、自由が丘商店街振興組合や商業者視点からの議論が中心だった。お客様や住人や来街者がどう思っているかのデータも欲しい。

O: 今後、この議論を継続審議していく中で、ジャスパスのカード取扱高の土曜日と日曜日の累計データを出してほしい。

⇒全ての意見が出尽くしたのち、再び理事長判断を議場に諮り「継続審議」していくことで決定した。